記者発表資料

国土交通省

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

震災復興
進もう！次の東北へ

令和５年３月３１日

国土交通省
東北地方整備局　福島河川国道事務所　郡山国道事務所
磐城国道事務所　三春ダム管理所
摺上川ダム管理所　小名浜港湾事務所
北陸地方整備局　阿賀野川河川事務所　阿賀川河川事務所

福島県内の東北・北陸地方整備局関係 令和５年度(2023年度)事業概要について

福島県内において国土交通省が実施する令和５年度(2023年度)の事業概要についてお知らせします。

〈令和５年度の取り組みのポイント〉

令和５年度国土交通省予算では、「国民の安全・安心の確保」、「社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり」を３本柱として、令和４年度第２次補正予算と合わせて、切れ目なく取組を進めるために必要な予算が計上されたところです。

福島県内直轄事業における令和５年度の取り組みのポイントは下記のとおりです。

○東日本大震災からの復興・再生の象徴となる国営追悼・祈念施設の整備等について地方公共団体と連携して着実に推進します。

また、東日本大震災の実情や教訓を伝えるための震災伝承に積極的に取り組むとともに、「３．１１伝承ロード」の形成を推進します。

○令和元年東日本台風（台風第１９号）、令和４年３月福島県沖を震源とする地震等の大規模自然災害からの復旧・復興に向け、インフラの整備を着実に推進します。

○気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」を計画的に進めるとともに、インフラ老朽化対策等の持続可能なインフラメンテナンスの実現等も含め、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築します。加えて、通学路等の交通安全の確保を推進します。

○社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大を図り、豊かで活力ある地方創りと分散型国づくりを推進するため、人流・物流を支える道路ネットワークの整備やその機能を最大限発揮するための渋滞対策等の推進や、産業競争力強化のための港湾整備を推進し、東北の強い地域経済を確立します。

○官民連携による建設業の担い手確保、コロナウイルス感染症対策を契機とした非接触・リモート型の働き方への転換と抜本的な生産性や安全性向上も含めたインフラ分野におけるＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の強力な推進など、「東北未来『働き方・人づくり改革プロジェクト』」の取り組みの進化を図ります。

〈令和５年度　福島県内直轄事業当初予算〉　（単位：百万円）

事業区分		Ｒ５年度予算	Ｒ４年度予算（参考）
河川関係事業費	国交省計上分	２，１２０	２，１９３
	計	２，１２０	２，１９３
道路関係事業費	国交省計上分	１５，０６７	１４，３６３
	計	１５，０６７	１４，３６３
港湾関係事業費	国交省計上分	１，４２９	１，２９９
	計	１，４２９	１，２９９

※上記のほか、直轄（河川）の災害復旧費として２５３百万円がある。
※維持修繕関係事業費等は除く。
※工事諸費等は除く。

〈発表記者クラブ〉

○福島県政記者クラブ　○福島市政記者クラブ　○郡山記者クラブ
○会津若松市記者クラブ　○いわき記者会　○いわき記者クラブ
○いわき市広報広聴課　○南相馬記者クラブ

【問い合わせ先】

◎国土交通省 東北地方整備局

○福島河川国道事務所　TEL 024-546-4331
副所長（河川）　中村（なかむら） 敏也（としや）　（内線204）
副所長（道路）　伊藤（いとう） 英和（ひでかず）　（内線205）

○郡山国道事務所　TEL 024-946-0333
副所長（改築）　袖林（そでばやし） 淳（じゅん）　（内線204）
副所長（管理）　佐藤（さとう） 幸喜（こうき）　（内線205）

○磐城国道事務所　TEL 0246-23-2211
副所長（改築）　宍戸（ししど） 英雄（ひでお）　（内線204）
副所長（管理）　板垣（いたがき） 浩美（ひろみ）　（内線205）

○三春ダム管理所　TEL 0247-62-3145
所長　佐々木（ささき） 良浩（よしひろ）　（内線201）

○摺上川ダム管理所　TEL 024-596-1275
所長　三浦（みうら） 義昭（よしあき）　（内線201）

○小名浜港湾事務所　TEL 0246-53-7100
副所長　日向（ひなた） 幸紀（こうき）　（内線302）

◎国土交通省 北陸地方整備局

○阿賀野川河川事務所　TEL 0250-22-2211
副所長　星野（ほしの） 政一（せいいち）　（内線204）

○阿賀川河川事務所　TEL 0242-26-6441
副所長　佐藤（さとう） 利行（としゆき）　（内線204）

【令和5年度　福島県内　主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成予定 開通目標 年　度	R5事業費 （百万円）	R5事業内容	頁
●新規事業箇所							
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系 直轄砂防事業（鍛治屋川第8砂防堰堤）	福島市	R12	（　953　）	砂防堰堤工	P1
道路	直轄	主要地方道 浪江国見線　伊達崎橋修繕代行事業	桑折町	―	150	調査設計等	P2
●完成・開通予定事業							
道路	直轄	国道4号　伊達拡幅	伊達市～ 国見町	R5	172	舗装工事 等	P3
●主要継続事業							
河川	直轄	阿賀川　河川改修事業（下流狭窄部改修（長井地区））	喜多方市	R7	（　404　）	河道掘削、低水護岸、 排水工	P4
河川 （砂防）	直轄	滝坂地区直轄地すべり対策事業	西会津町	R10	（　478　）	集水ボーリング工	P4
河川	直轄	阿武隈川水系 玉川村　乙字ヶ滝かわまちづくり	玉川村	R12	（　40　）	護岸工 等	P5
河川	直轄	阿武隈川水系 桑折地区かわまちづくり	桑折町	R10	（　40　）	側帯工 等	P5
河川	直轄	阿武隈川上流　河川大規模災害関連事業	伊達市、桑折町、 国見町、福島市、 本宮市、郡山市、 須賀川市、玉川村、 鏡石町、　矢吹町	R10	（　253　）	河道掘削 堤防整備 橋梁架替	P6
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系 直轄砂防事業（塩の川第8砂防堰堤）	福島市	R7	（　953　）	管理用道路整備	P7
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系 直轄砂防事業（前川第1砂防堰堤）	福島市	R8	（　953　）	砂防堰堤工	P7
道路	直轄	国道4号　矢吹鏡石道路	矢吹町～ 鏡石町	―	100	調査設計	P8
道路	直轄	国道6号　勿来バイパス	いわき市	―	2,580	調査設計、用地買収、 支障物移転、 改良・トンネル工事	P8
道路	直轄	国道13号　福島西道路（Ⅱ期）	福島市	R8 ※1,2	4,970	調査設計、用地買収、 支障物移転、 改良・橋梁・トンネル工事	P9
道路	直轄	国道121号　湯野上バイパス	下郷町	R7 ※1	4,520	調査設計、支障物移転、 改良・橋梁・トンネル工事	P9
道路	直轄	国道49号　北好間改良	いわき市	―	150	調査設計、用地買収、 改良工事	―
道路	直轄	国道49号　会津防災	柳津町～ 西会津町	―	290	調査設計、支障物移転、 改良・橋梁工事	―

・事業費の（　）の金額は、以下河川・水系単位の全体額
　阿賀川水系（福島県）、阿武隈川水系（福島県）、阿武隈川水系（福島県・山形県）
※1：トンネル工事が順調に進んだ場合
※2：用地買収が順調に進んだ場合

【令和5年度　福島県内　主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成予定開通目標年　度	R5事業費（百万円）	R5事業内容	頁
●主要継続事業							
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策（薄葉交差点改良）	白河市	－	20	調査設計	－
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策（泉崎地区事故対策）	泉崎村	－	128	用地買収、改良工事	－
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策（矢吹地区事故対策）	矢吹町	－	100	改良・舗装工事	P10
道路	直轄	国道4号　福島4号交通安全対策（国見地区付加車線整備）	国見町	－	200	改良・舗装工事	P10
道路	直轄	国道13号　福島13号交通安全対策（北矢野目交差点改良）	福島市	－	25	調査設計	－
道路	直轄	国道13号　福島13号交通安全対策（中野地区事故対策）	福島市	－	20	調査設計	－
道路	直轄	国道49号　福島49号交通安全対策（好間地区歩道整備）	いわき市	－	81	改良・舗装工事	－
道路	直轄	国道49号　福島49号交通安全対策（滝額付加車線整備）	柳津町	－	150	改良工事	－
道路	直轄	国道4号 富田地区電線共同溝	郡山市	－	35	調査設計	－
道路	直轄	国道4号 黒岩地区電線共同溝	福島市	－	35	調査設計、支障物移設、本体工事（引込連系管路工事等含む）	P11
道路	直轄	国道49号　一箕町地区電線共同溝	会津若松市	－	171	本体工事	P11
港湾	直轄	小名浜港 国際物流ターミナル整備事業	いわき市	R15	1,230	防波堤整備	P12
港湾	直轄	相馬港 予防保全事業	相馬市、新地町	－	199	防波堤改良	P12
公園	★直轄	国営追悼・祈念施設整備事業	浪江町	R7	393	管理棟建築工事	P13

★の事業は、復興庁からの配分事業である。

●道路調査の見通し				
道路	直轄	国道4号　福島北道路	概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）	－
道路	直轄	国道6号　小名浜地区（林城～飯田）	概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）	－

位置図の出典：地理院地図に事業箇所等を追記して記載

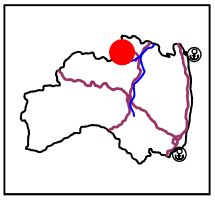
阿武隈川水系 直轄砂防事業（鍛冶屋川第8砂防堰堤）

R5：953百万円※	
完成予定：R12	

新規	福島県福島市	河川(砂防)	直轄

※上記の事業費は、当該水系（福島県・山形県）全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
鍛冶屋川左支川流域からの土石流等に対し、砂防堰堤整備により下流域への土砂流出を抑制し、早期に地域の安全性向上を図ります。

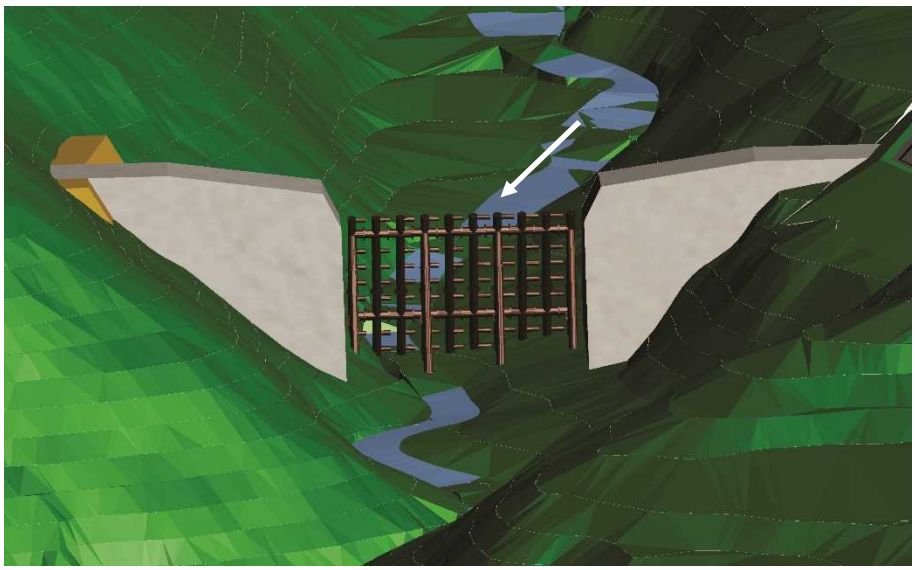


下流　福島市街地の状況

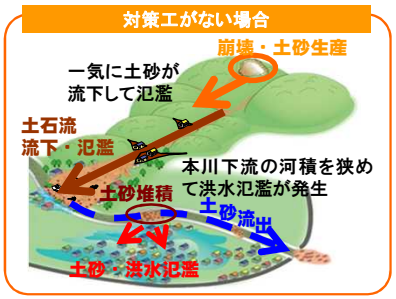




【整備効果】
鍛冶屋川第8砂防堰堤の整備により、土砂流出を抑制し、下流域における土砂災害の被害軽減を図ります。



▲鍛冶屋川第8砂防堰堤　完成イメージ



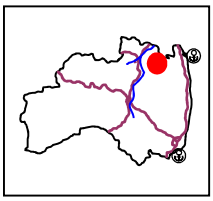


【令和5年度の事業内容】
砂防堰堤を整備します。

主要地方道　浪江国見線　伊達崎橋修繕代行事業		R5：150百万円 完成予定：ー	
新規	福島県伊達郡桑折町	道路	直轄

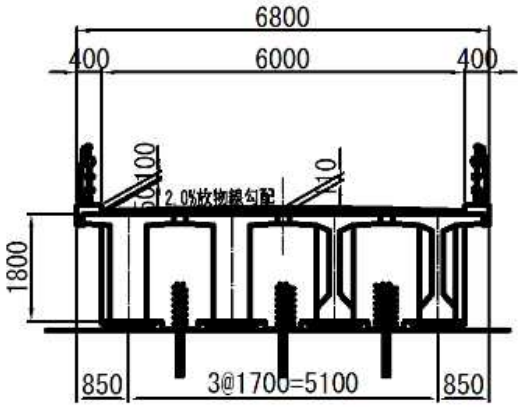
【事業の概要】

伊達崎橋は、福島県が管理する（主）浪江国見線の阿武隈川に架かる橋梁であり、橋脚基部にコンクリートの剥離や一部で鉄筋のはらみ出しや破断及び河床洗掘が直轄診断で確認された。補修には高度な専門知識を要することから、国による修繕代行事業として保全対策を行うものです。





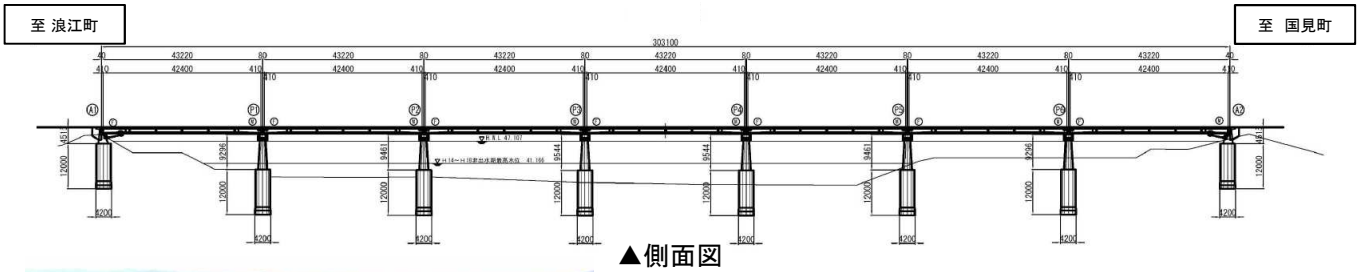
▲位置図



▲標準断面図

【整備効果】

橋梁保全対策の実施により、橋梁の健全度確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。



▲側面図



▲伊達崎橋 全景



▲下部工　橋脚基部の損傷状況



▲基礎工　河床の洗掘状況

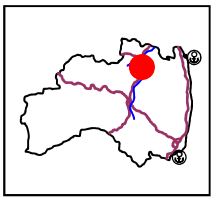
【令和5年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

国道4号　伊達拡幅

R5：172百万円

開通	福島県伊達市～伊達郡国見町	道路	直轄

【事業の概要】
国道4号　伊達拡幅は、伊達市～国見町における交通混雑の緩和や交通安全の確保等を目的とする4車線拡幅事業です。



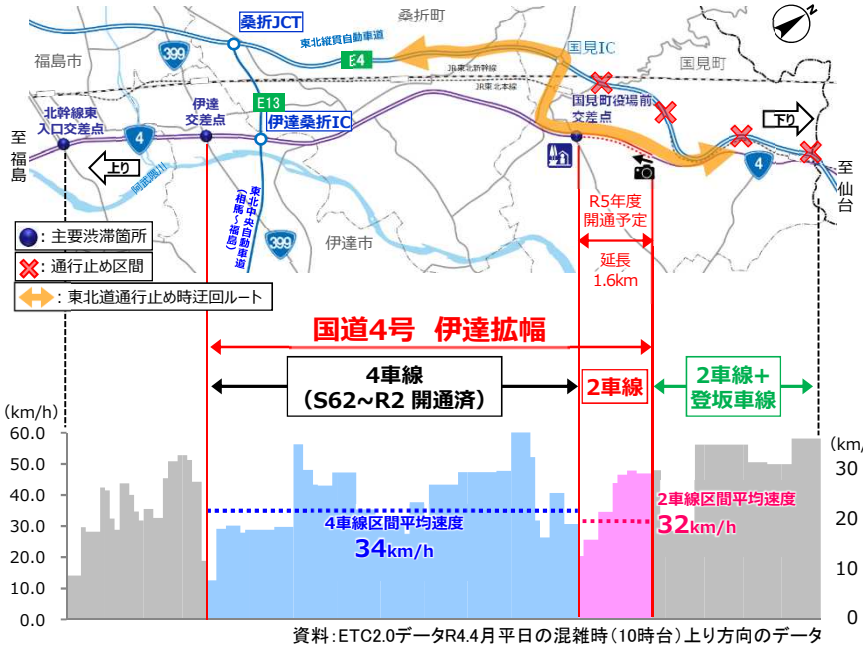




▲伊達拡幅の整備状況

【整備効果】
〇走行速度の向上及び交通混雑が緩和され、円滑な交通を支援します。
〇東北道通行止め時の安定的な通行の確保を支援します。

▼当該区間における速度低下状況

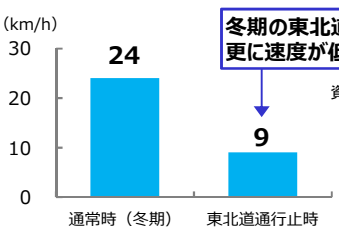


資料：ETC2.0データR4.4月平日の混雑時（10時台）上り方向のデータ

▼東北道通行止め時の国道4号の混雑状況
（国見町）



▼東北道通行止め時（冬期）の速度の変化
（R4上り：国見町役場交差点付近）



資料：ETC2.0データ
【通常時（冬期）】R3年度の積雪日（観測地点：福島）における混雑時（11時台）の上り方向データ
【東北道通行止時】R4.2.21(月)　通行止め発生時(7～19時)の上り方向データ

【令和5年度の事業内容】
舗装工事等を実施し、全線4車線にて開通させます。

阿賀川　河川改修事業（下流狭窄部改修（長井地区））

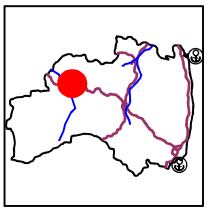
R5事業費:404百万円※

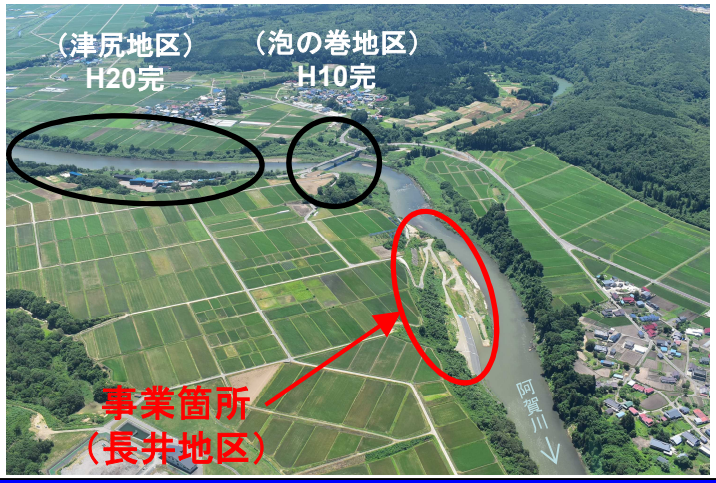
完成予定:R7

継続	福島県喜多方市	河川	直轄

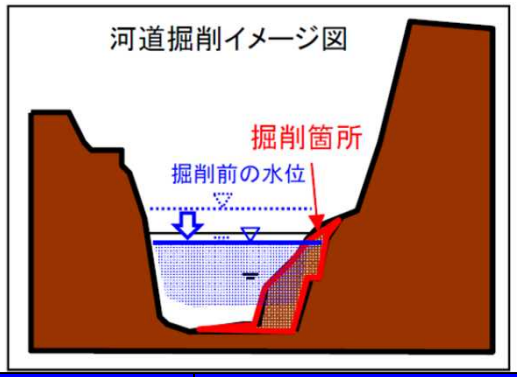
※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿賀川下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時に狭窄部上流で水位がせき上がり、水害発生の原因となっています。このため、狭窄部上流の水位せき上げの解消を目的として、継続して河道掘削を実施します。





河道掘削により狭窄部上流の水位低下を図り、治水安全度を向上させます。



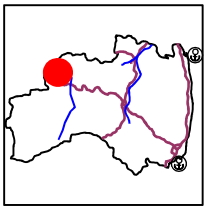
滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

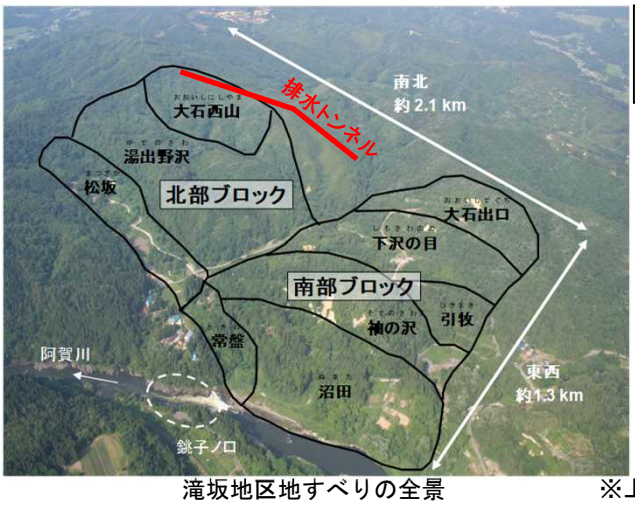
R5事業費:478百万円※

完成予定:R10

継続	福島県耶麻郡西会津町	河川	直轄

滝坂地すべりの活動が活発化した場合、阿賀川の河道閉塞に伴う湛水により大規模な水害・土砂災害が発生してしまう危険性があるため、重点的に地すべり対策を実施しています。





滝坂地区地すべりの全景

地すべり対策事業の推進により土砂災害に対する地域の治水安全度の向上を図ります。



S33年頃
引牧の住居軒下の開口亀裂



H6年頃
袖ノ沢地区の地割れ

※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿武隈川水系　玉川村乙字ヶ滝かわまちづくり

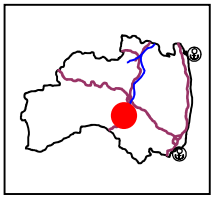
R5:40百万円※

完成予定:R12

継続	福島県石川郡玉川村	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

玉川村乙字ヶ滝では、乙字ヶ滝を含めた村内観光拠点の周遊性を高めて、まちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間を創出するため、親水護岸、管理用通路、坂路等の整備を実施します。
令和5年度は、護岸工等の整備を実施します。







▲水辺空間の整備イメージ

親水護岸、管理用通路を整備することで、村内の歴史・文化資源から川への回遊性の向上が図られます。

※図の事業範囲の旗揚げ及び赤着色は、当該事業全体の事業範囲を示しており、令和5年度予算の事業範囲のみを示すものではありません。

阿武隈川水系　桑折地区かわまちづくり

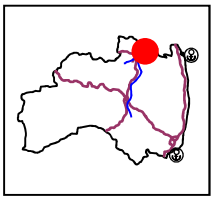
R5:40百万円※

完成予定:R10

継続	福島県伊達郡桑折町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

桑折地区は、阿武隈川堤防により守られている特産品の“桃”の生産地と農業振興拠点をウォーキングや自転車、カヌー等で回遊性を図り、賑わいのある水辺空間を創出するため、高水敷整正や護岸等の整備を実施します。
令和5年度は、側帯工を実施します。







▲　整備イメージ

自転車、カヌー等で回遊性を図り、賑わいのある水辺空間を創出し、地域交流の活性化が図られます。

※図の事業範囲の旗揚げ及び赤着色は、当該事業全体の事業範囲を示しており、令和5年度予算の事業範囲のみを示すものではありません。

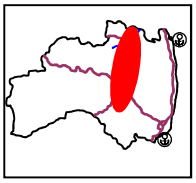
阿武隈川上流 河川大規模災害関連事業

R5：253百万円

完成予定：R10

継続	福島県伊達市、桑折町、国見町、福島市、本宮市、郡山市、須賀川市、玉川村、鏡石町、矢吹町	河川	直轄

令和元年東日本台風に伴う洪水により、阿武隈川では越水・溢水が発生し、本川上流部や支川では堤防決壊等が発生するなど、流域全体で甚大な浸水被害となったことから、本川・支川の抜本的な治水対策を推進します。





※参考：R4補正予算事業費（7,970百万円）

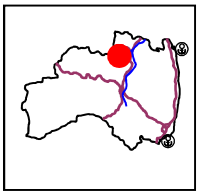
阿武隈川水系直轄砂防事業（塩の川第8砂防堰堤）

R5：953百万円※
完成予定：R7

継続	福島県福島市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系（福島県・山形県）全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿武隈川水系では、近年の豪雨等に伴い流域内に多数の崩壊箇所や、渓流等が荒廃し、土砂・洪水氾濫の危険性が高まっていることから、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。
令和5年度は砂防堰堤を整備します。







砂防堰堤整備を推進し土砂・洪水氾濫の防止・軽減を図ります。

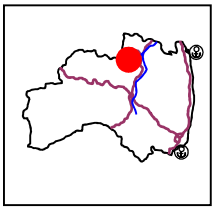
阿武隈川水系直轄砂防事業（前川第1砂防堰堤）

R5：953百万円※
完成予定：R8

継続	福島県福島市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系（福島県・山形県）全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿武隈川水系では、近年の豪雨等に伴い流域内に多数の崩壊箇所や、渓流等が荒廃し、土砂・洪水氾濫の危険性が高まっていることから、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。
令和5年度は砂防堰堤を整備します。







砂防堰堤整備を推進し土砂災害の防止・軽減を図ります。

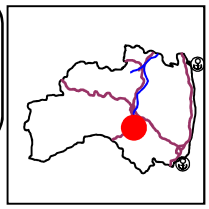
国道4号　矢吹鏡石道路（やぶきかがみいし）

R5：100百万円

開通予定：　ー

継続	福島県西白河郡矢吹町（にししらかわ　やぶきまち）～福島県岩瀬郡鏡石町（いわせ　かがみいしまち）	道路	直轄

国道4号　矢吹鏡石道路（やぶきかがみいし）は、国道4号の交通混雑の解消や交通事故の減少、物流の効率化等を目的とした4車線拡幅事業です。







▲国道４号　通勤時間帯の渋滞状況

矢吹鏡石道路の整備により、交通混雑の解消や交通事故の減少、物流の効率化が図られる事等が期待されます。

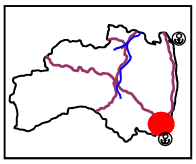
国道6号　勿来バイパス（なこそ）

R5：2,580百万円

開通予定：ー

継続	福島県いわき市	道路	直轄

国道6号　勿来（なこそ）バイパスは、災害時の代替路の確保及び交通混雑の緩和等を目的とする延長4.4kmのバイパス事業です。





▲勿来バイパスの整備状況

開通済	
事業中	



▲国道6号の交通混雑状況

勿来バイパスの整備により、災害時の代替路の確保、交通混雑の緩和等が図られます。

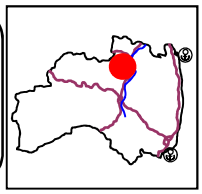
国道13号　福島西道路（Ⅱ期）

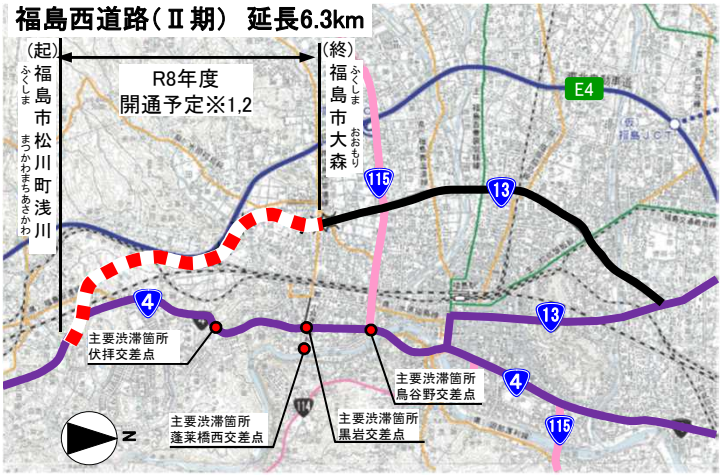
R5：4,970百万円

開通予定：R8 ※1,2

継続	福島県福島市	道路	直轄

国道13号　福島西道路（Ⅱ期）は、国道4号の福島都市圏南部の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害に強い道路ネットワークの確保等を目的とする4車線道路です。





※1 トンネル工事が順調に進んだ場合
※2 用地買収が順調に進んだ場合



▲国道4号の混雑状況

福島西道路（Ⅱ期）の整備により、交通の分散による国道4号の渋滞緩和、急勾配区間の回避による交通事故の削減が期待されます。

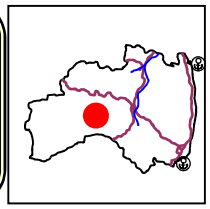
国道121号　湯野上バイパス

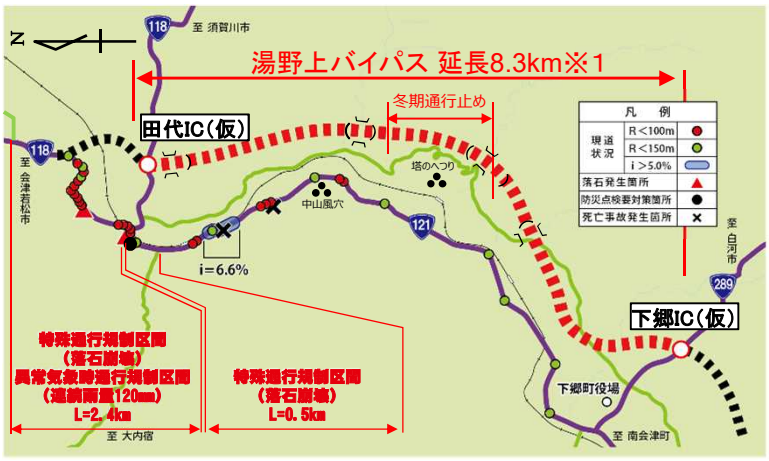
R5：4,520百万円

開通予定：　R7年度※1

継続	福島県南会津郡下郷町	道路	直轄

国道121号　湯野上バイパスは、「会津縦貫南道路」の一部を構成し、並行する国道121号の通行規制区間解消等を目的とした幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。





※1トンネル工事が順調に進んだ場合



▲国道121号の落石状況

湯野上バイパスの整備により、災害時のリダンダンシー確保や速達性向上等が図られます。

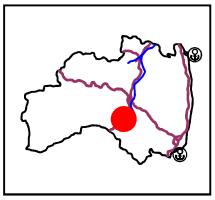
国道4号　福島4号交通安全対策（矢吹地区事故対策）

R5：　100百万円

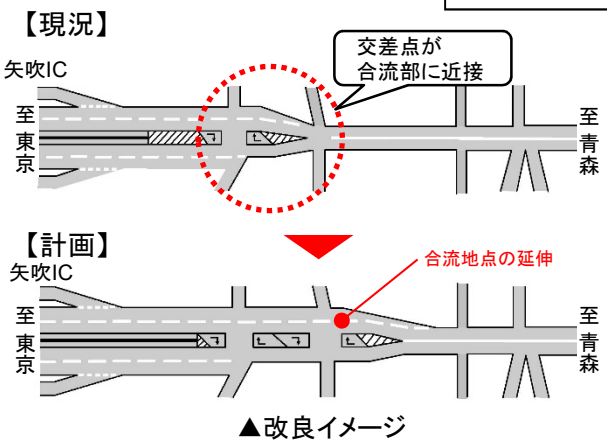
開通予定：ー

継続	福島県西白河郡矢吹町	道路	直轄

矢吹ICにアクセスする当区間は、4車線から2車線への合流区間となっており、合流部が交差点に近接していることから交通が錯綜しており、追突事故等が発生しています。
このため、合流地点の延伸（付加車線整備）を行います。







▲改良イメージ

付加車線整備により、交通事故削減と交通の円滑化が図られます。

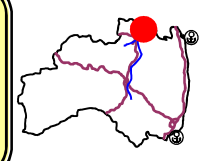
国道4号 福島4号交通安全対策（国見地区付加車線整備）

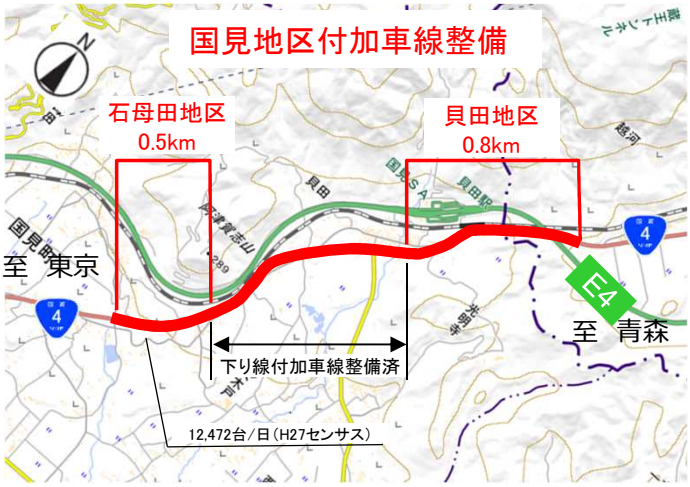
R5：200百万円

開通予定：ー

継続	福島県伊達郡国見町	道路	直轄

国見地区付加車線整備は、急勾配のため速度低下による追突事故が発生し、冬季には走行不能車両による通行止めが発生しているため、付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。







▲付加車線設置付近

付加車線整備により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

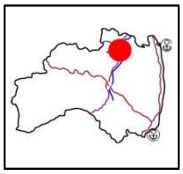
国道4号　黒岩（くろいわ）地区電線共同溝

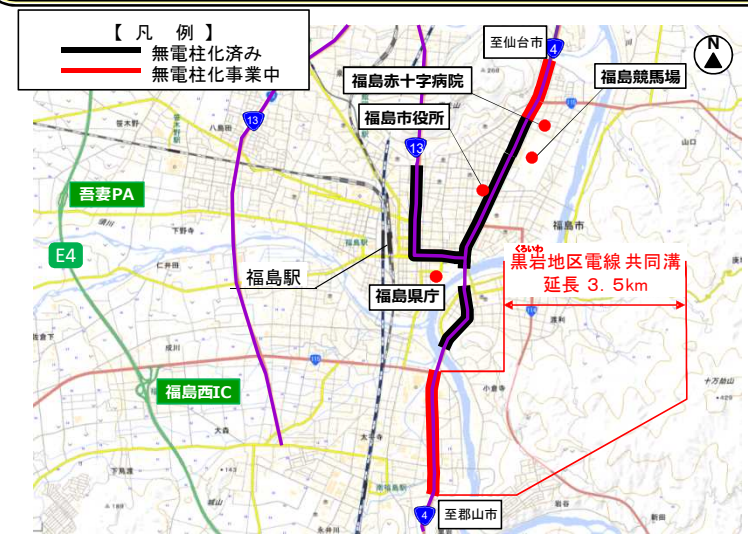
R5：35百万円

完成予定：　ー

継続	福島県福島市	道路	直轄

黒岩（くろいわ）地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







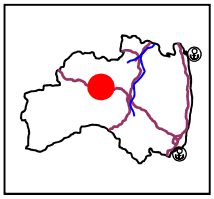
国道49号　一箕町（いっきまち）地区電線共同溝

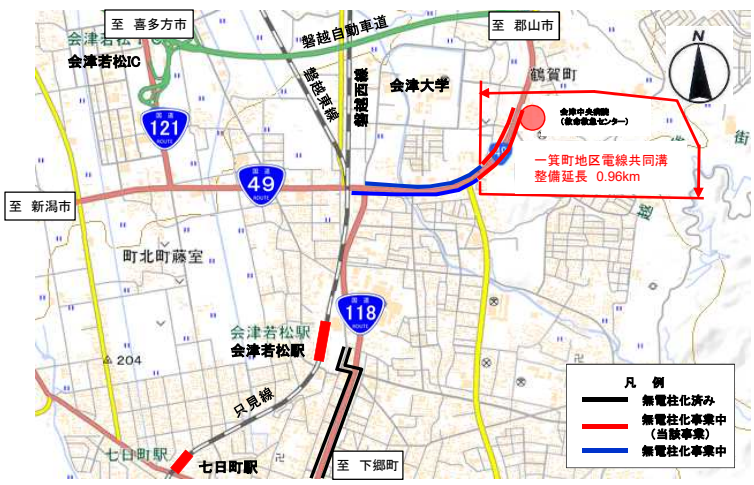
R5：171百万円

完成予定：　ー

継続	福島県会津若松（あいづわかまつ）市	道路	直轄

一箕町（いっきまち）地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







▲ 国道49号の電柱状況

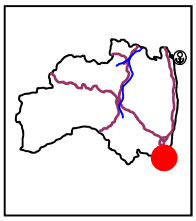
電線共同溝の整備により、災害時における緊急輸送路の確保等が図られます。

小名浜港　国際物流ターミナル整備事業

R5：1,230百万円
完成予定：R15

継続	福島県いわき市	港湾	直轄

小名浜港において防波堤の整備を推進し、港内に避泊水域を確保し、荒天時における沖合航行船舶の海難事故の減少を図るとともに、港内の静穏性向上を図ります。







▲防波堤整備の様子（ケーソン(※)据付）
※ケーソン：防波堤を形成するコンクリートの箱

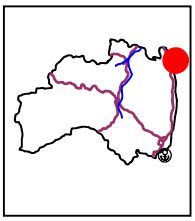
防波堤整備を推進し、港内の避泊水域及び静穏性の確保を図ります。

相馬港　予防保全事業

R5：199百万円
完成予定：ー

継続	福島県相馬市、新地町	港湾	直轄

相馬港において防波堤(沖)の改良（かさ上げ等）を推進し、頻発化・激甚化する台風に伴う高潮・高波による港湾内の被害軽減を図ります。







▲荒天時における防波堤(沖)での越波の様子

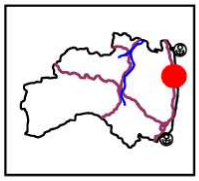
防波堤（沖）改良を推進し、高潮・高波による港湾内の被害軽減を図ります。

国営追悼・祈念施設整備事業

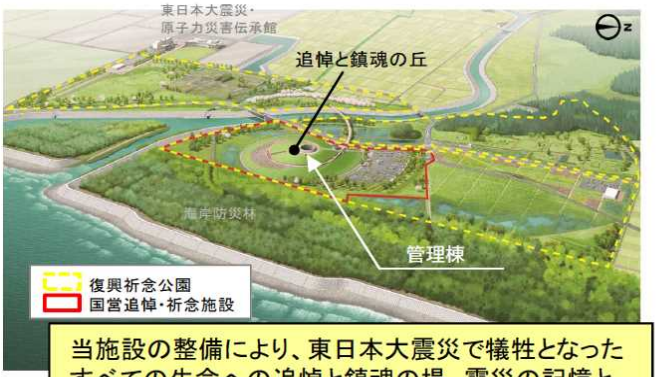
R5：393百万円
完成予定：R7

継続	福島県双葉郡浪江町	公園	直轄

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、福島県との連携のもと、県が整備する「福島県復興祈念公園」の中に、国営追悼・祈念施設を整備します。
令和5年度は、管理棟などの建築工事を実施します。





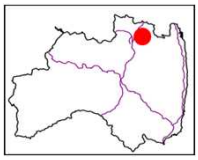


当施設の整備により、東日本大震災で犠牲となったすべての生命への追悼と鎮魂の場、震災の記憶と教訓を後世に伝承する場などが形成されます。

（参考）国道399号　伊達橋災害復旧事業

継続	福島県伊達市	道路	直轄

令和4年3月に発生した福島県沖を震源とする地震により被災した福島県伊達市内の「国道399号伊達橋（福島県管理）」については、国土交通省の直轄権限代行により災害復旧事業を推進します。









※参考　R4補正予算　3,300百万円